

# 保健医療福祉情報基盤検討委員会 業務報告会

2019年5月16日

戦略企画部

保健医療福祉情報基盤検討委員会

© JAHIS 2019

### 狙い

ISOWG1,WG8に関しては、JAHIS意見を集約する機会を持つ  
(JAHISに対応する委員会がなかった)

海外の標準化の動きと、JAHISの活動との関係性の整理をおこなう。

「保健医療福祉情報基盤検討委員会」の発足  
2010年1月

### 【趣旨】

1. 日本における保健医療福祉の情報基盤のあり方に関する検討を行う。
2. 各委員会の討議内容の議論と調整
3. ISO WG1,8(スポンサー)活動に対して発信する意見を調整する。

※今後JAHISが対外的に意見を発信すべき相手と、その内容についても議論する。

**◆委員長**

高橋 弘明	NTTデータ
-------	--------

**◆副委員長**

西原 栄太郎	キヤノンメディカルシステムズ
鹿妻 洋之	オムロンヘルスケア

**◆戦略企画部長**

中光 敬	NTTデータ
------	--------

**◆運営幹事**

柴 健一郎	NTTデータ
小林 俊夫	日本アイ・ビー・エム
西山 喜重	キヤノンメディカルシステムズ
西村 寿夫	PHC
山内 俊幸	富士通
松原 修	日立製作所
真野 誠	日本電気

**◆各委員会等代表**

佐々木 文夫	日本電気
岡田 真一	日本電気
井上 貴宏	富士通
岡 和彦	キヤノンメディカルシステムズ
森本 正幸	富士通
吉村 仁	JAHIS
黒野 満夫	JAHIS

**◆エキスパート**

稲岡 則子	日本アイ・ビー・エム
長谷川 英重	特別委員

**◆事務局**

平井 健二	JAHIS
-------	-------

- スポンサーとなっているISO/TC215 WG1を中心に標準化に関する国際動向の情報収集と整理を行い共有をはかった。
- 保健医療福祉情報基盤における海外ISO等標準化の議論状況と国内の現状・課題を整理し、JAHISとしての今後のアクション等を「保健医療福祉情報基盤における、海外状況と国内状況、及び今後のアクション」（俯瞰表）として取りまとめた。

	海外状況	国内状況			今後のアクション		
	I S O等標準化での議論の状況	対象分野 (データ)	現状の状況と課題	JAHISのアクティビティ	国内	海外	担当委員会
二次利用・疫学的活用		レセ電データ (医療)					
		特定健診ほかのNDB					
		レセ電データ (介護)		ICD10 2013年版			
		D P Cデータ					
		医療情報DB		NDB/介護レセの連結利用			
		各種医療データ					
		Q I / C Iデータ		次世代医療基盤法の施行			
個人の生涯にわたる健康情報の管理・活用		在宅データ計測器					
		健診データ		医療情報化支援基金			
		診療データ					
		科学的介護		VISITとの連携			
		福祉データ					
地域における医療施設間の連携		地域の医療施設間の連携		データヘルス改革、保健医療情報NW			
		I D		オンライン資格確認			
		地域連携パス					
		電子処方箋		電子処方箋実証事業			
		医療と介護の連携					
医療安全 (参考)		医療安全 (参考)		GHS、IEC62304Ed2、IEC80001-1Ed2			
インフラ (参考)		ガイドライン関連 (参考)					
個人情報 (参考)		個人情報 (参考)		3省3ガイドライン			

- 医療 I T 政策や動向について海外および国内の両面から捉え、J A H I S 活動の方向性や課題等について議論を行い整理する。
- 俯瞰表の見直しを行い、活用を推進する。  
網羅性(スコープ)、切り口(発生側、利用側)、海外との整合性の観点で見直しを行い、J A H I S として取り組む課題の明確化、標準化計画へ活用する。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございます。

今後も、保健医療福祉情報基盤検討委員会の活動にご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

